

インドネシア大臣 南アフリカ大臣 が防災科研を視察

5月9日にインドネシア研究技術大臣が、当研究所をご視察されました。インドネシアでは、2004年12月26日に発生したスマトラ島沖地震により甚大な被害を被ったことから、地震・津波に関する研究内容を中心に意見交換を行いました。

既に当所ではインドネシアにおいて地震観測網の整備を進めていることから、その現状と今後の計画に関する説明を行いました。また、インドネシア側からは、現在の政府の取り組みをご紹介頂きました。その上で、今後の地震・津波観測と防災教育の必要性に

ついて、インドネシア大臣や局長らと熱心な討論が行われました。

6月3日に南アフリカ大臣及び大使が、当研究所をご視察されました。

当所からは、国内外の地震観測網及び大型降雨実験施設、地震観測データに基づいた即時的地震情報に関する研究成果等を中心に紹介を行いました。南アフリカは、地震がほとんど起こらないことに加え、他の自然災害も比較的少ない地域に該当しますが、当所の研究内容について非常に関心を持ち、多くのご質問を頂きました。



インドネシア大臣（右から2番目）が、リアルタイム地震情報の伝達・利用に関する研究成果の説明を受けている様子



南アフリカ大臣（右から1番目）が、片山理事長の説明を聞く様子

真夏に雪が降る！

8月5日、長岡雪氷防災研究所新庄支所で一般公開が行われました。多くの家族連れなど、200名を超える方々に見学頂き大盛況でした。

氷点下10度に設定された低温実験室に人工降雪装置から舞い落ちてくる真夏の雪に、大人も子供も大感激の様子でした。

過冷却水を一瞬で凍らせたり、ダイヤモンドダストを発生させたりする実



氷点下10度の部屋に舞い落ちる雪

験にも驚きの声が聞こえました。

多数の方々のご参加、ありがとうございました。

災害救助に一役「スマートクレーン」

防災科研は、東京電機大学、東京農工大学、日立プラント建設株式会社と共同で災害時の人命救助支援用として「スマートクレーン」を開発しました。

このクレーンは、鎖を引く力を感知して電動アシストにより手への負荷を10分の1にするため、わずかな力で重いものを持ち上げられます。

最大125kgを1.2kg程度の力で持ち上げが可能です。

スマートクレーンの仕様

巻上容量	125 kg
揚程	5 m
最大巻上速度	70 mm/sec
外形	279×192×108 mm
装置質量	7.5 kg
駆動電圧	24 V



スマートクレーン外観

中・高校生、防災科学と出会う。

—2005年 「サイエンスキャンプ」「中学生ミニ博士コース」開催—

7月25日から27日にかけて高校生を対象にした「サイエンスキャンプ2005」、8月3日から5日にかけて中学生を対象にした「中学生ミニ博士コース」を開催しました。

高校生は、全国から25名。中学生は、茨城県内から15名が参加しました。

両イベントとも、受講者全員が、猛

暑にも負けず、研究者の講義や実験を通して、自然災害のおこる仕組みや、それを知る技術などについて学びました。皆、充実した3日間で最先端の防災科学を学び、キラキラした瞳に微笑ましい笑顔で帰って行ったのが印象的でした。



理事長や講師を囲んで記念撮影



ビーコンを使って雪崩捜索シミュレーション



牛乳パックを燃料に空き缶でご飯を炊きました。苦勞したかいがあり、とても美味しいご飯が炊けました！



ペットボトルを使って手作り地震計を作りました。最後はみんなでジャンプして揺れを起こし、性能試験です。

編集・発行／



独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 ☎029-851-1611(代)

企画課直通☎029-863-7789 Fax.029-851-1622

E-mail◆toiawase@bosai.go.jp ホームページ◆<http://www.bosai.go.jp>

発行日／2005.10.1